

## 安全データシート

 整理番号： 48140-1204E41  
 作成： 2010/07/01  
 改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

## 1. 化学物質等及び会社情報

 製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ  
 会社名： JX日鉱日石エネルギー株式会社  
 住所： 〒100-8162 東京都千代田区大手町二丁目6番3号  
 担当部門： 添付資料参照  
 (TEL: 添付資料参照, FAX: 添付資料参照)  
 緊急連絡電話番号： 添付資料参照

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類		区分
眼損傷性/刺激性		区分2B
特定標的臓器毒性, 単回ばく露		区分1
特定標的臓器毒性, 反復ばく露		区分1
水生環境有害性(急性)		区分3

## GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	眼刺激 <作用を受ける臓器(中枢神経系, 腎臓, 心臓, 呼吸器)>の障害 長期または反復暴露により<作用を受ける臓器(中枢神経系, 心臓, 呼吸器)>の障害 水生生物に有害
注意書き：	<b>安全対策</b> 取り扱い後はよく手を洗うこと。 粉塵またはミストを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	<b>応急措置</b> 暴露した場合、医師に連絡すること。 環境への放出を避けること。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激性が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
	<b>保管</b> 施錠して保管すること。
	<b>廃棄</b> 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

 化学物質・混合物の区別： 混合物  
 成分及び含有量

	含有量	化審法	安衛法	化管法	毒劇法
--	-----	-----	-----	-----	-----

## 安全データシート

 整理番号： 48140-1204E41  
 作成： 2010/07/01  
 改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

成分名称	含量 wt. %	CAS#	官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
エチレングリコール	88-93	---	既存	既存	安衛法通知物質-	非該当	非該当
水	2-4	---	---	既存	非該当	非該当	非該当
その他添加剤(防食剤、防腐剤等)	10	---	---	---	非該当	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合：	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	すぐに皮膚を大量の水で洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合：	清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外す。その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないこと。コップ1~2杯の水を飲ませ、すぐに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤：	霧状の強化液、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂が有効である。
使ってはならない消火剤：	棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特有の危険有害性：	火災によって刺激性のガスを発生するおそれがある。 燃焼の際は、一酸化炭素等の有毒ガスが生成される。
特有の消火方法：	周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護：	防火服/防災服/耐火服を着用すること。 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。 必要に応じて空気呼吸器及び防護服を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には、保護具を着用する。  付近の着火源となるものは速やかに取り除く。 ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 こぼれた場所は滑りやすいため注意すること。
環境に対する注意事項：	漏洩した液は土砂、土のうなどで流出を防止し、側溝、下水、河川に流出しないよう注意する。

## 安全データシート

整理番号： 48140-1204E41

作成： 2010/07/01

改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸取る。  
 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。  
 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、出来るだけ空容器に回収する。

二次災害の防止策： 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。  
 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。漏洩物を完全撤去、区域換気と清掃を行う。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策： 火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。  
 容器から取り出す時はポンプなどを使用すること、細管を用いて口で吸い上げてはならない。飲まない。  
 ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。  
 蒸気、ミスト等が発散する場合は発生源の密閉装置、局所排気装置等の設備を設置する。  
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気： 室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。

注意事項： 取り扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。  
 火気注意

安全取扱注意事項： 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。  
 容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。

### 保管

安全な保管条件： 直射日光を避け、通風の良い冷暗所に保管し、着火源、高温物等を近づけない。  
 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。  
 保管場所に施錠して保管することが望ましい。

安全な容器包装材料： 密閉式の破損・腐食しないものを使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。  
 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

### 許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
エチレングリコール	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 100mg/m <sup>3</sup> (Ethylene Glycol)	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>

## 安全データシート

整理番号： 48140-1204E41

作成： 2010/07/01

改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

水	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>
その他添加剤(防食剤、防腐剤等)	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>	未設定 ppm, 未設定 mg/m <sup>3</sup>

## 保護具

呼吸用保護具： 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

手の保護具： 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。

眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具： 長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策： 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 製品

外観 物理的状态： 液体  
形状： 液体  
色： 緑色

臭い： かすかな甘味臭

pH： 7.5-8.5

融点・凝固点： データなし

沸点、初留点  
及び沸点範囲： 170(°C)

引火点： 120-140(°C)

自然発火温度： データなし

燃焼の範囲又は爆発範囲： データなし

蒸気密度： データなし

密度(g/cm<sup>3</sup>)： 1.131-1.141(20°C)

溶解度： 水：易溶

n-オクタノール／水  
分配係数： データなし

分解温度： データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性： 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。

危険有害反応可能性： 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件： 混触危険物質との接触。  
長時間加熱、火炎、発火源。

混触危険物質： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

危険有害な分解生成物： 燃焼の際は、一酸化炭素等が生成される可能性がある。

## 11. 有害性情報

## 安全データシート

 整理番号： 48140-1204E41  
 作成： 2010/07/01  
 改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

## 製品

急性毒性（経口）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（経皮）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（吸入）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性（変異原性）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性，単回ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性，反復ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
吸引力呼吸器有害性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

## 1 2. 環境影響情報

## 製品

生態毒性	
急性毒性（魚毒性）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（藻類成長阻害）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性（魚毒性）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性（藻類成長阻害）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

## 1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。  
 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

## 安全データシート

整理番号： 48140-1204E41  
作成： 2010/07/01  
改訂： 2014/02/03

製品名： ヤンマーロイヤルフリーズ

---

IMDG分類 国連分類： 非該当  
輸送の特定の 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。  
安全対策及び条件：

---

### 15. 適用法令

消防法： 危険物・第4類引火性液体・第3石油類水溶性液体，危険等級Ⅲ危険物  
安衛法： 名称等を通知すべき有害物  
海洋汚染防止法： 有害液体物質Y類物質，有害液体物質Z類物質  
廃掃法： 産業廃棄物規則

---

### 16. その他の情報

免責文： 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。  
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。  
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。